

鈴木ひとみ市政報告



ごあいさつ

この度の市議会議員選挙では、皆様方に多大なるご支援、お力添えを賜りましたこと、深く感謝致しております。皆様方のご期待にお応え致しますよう、一生懸命に活動していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

令和元年第2回市議会定例会報告

6月13日、14日、17日の3日間にわたって館山市議会の通告質問が行われました。今回は議員18人中13人が質問に立ちました。13日に行った私の質問から市の解答、私の所見をご報告いたします。

質問1 子育て支援の施策について

Q1 幼稚園と保育園の定員数の見直しは進んでいるでしょうか？

A こども園の長時間児と短時間児の定員を見直した。

Q2 市立幼稚園の三歳児クラス、及びこども園の三歳児の短時間枠を新設すべきと考えますが、いかがでしょうか？


A クラス相当数の職員が必要なため、困難な状況です。

Q3 未就園児の一時保育を拡充して、緊急の場合にも対応できるようにすべきと考えますが、いかがでしょうか？

A 「子ども・子育て支援事業計画」の中で検討していきます。

Q4 学童クラブの定員見直しを行い、増員されたようですが、今年の夏休みの見通しはどうなっているのか伺います。

A おおむね30人程度の追加受け入れができるよう、対応することとしました。特にサービスの必要な小学校低学年児童の受け入れは改善できると考えています。

 核家族化が進む中、子育て支援の充実は必須となっています。中でも小学校入学前の幼児期の教育の大切さは、人格形成の基礎を培うものとして、改正教育基本法の中でもうたわれています。ですが、館山市の3歳児の受け皿は保育園と私立幼稚園1園のみであるので、3歳児の就園率は56%で、全国的にはほぼ90%であるのに対して大変

低くなっています。平成17年度の文科省の中央審議会による「子供を取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方




についての答申」の中での、「入園を希望するすべての満3歳児から5歳児の就園を目標に、幼稚園等の整備を進める」とあります。館山市の保育園の条件に満たない3歳児も幼児教育の機会を与えられるべきです。これからも強く要望していきたいと考えます。

質問2 郊外地域での高齢者の生活支援について

Q1 郊外地域に居住する高齢者の免許返納後の買い物、医療の環境確保、移動手段について市としてどう考え、今後、どのようにして検討を進めていくのか？

A 地域包括ケアシステムの構築により解決していると考えている。様々な地域の事情があり、すべての地区が同じようには進みませんが、これからも社会福祉協議会、地域包括支援センター、行政及び地域住民とが一体となって、地域にあった地域包括ケアシステムの構築に向けた「地域づくり」に取り組んでいきます。

 高齢者の交通事故が増える中、免許返納を進めていくことが大きな課題です。しかし、免許返納後の生活を支える仕組みを作らなければ、翌日から買い物も通院も困難となります。地域任せ、ボランティアだよりではなく、市がしっかりとかわって継続可能な仕組みを作っていくことが大切です。尚、高齢者の事故防止のため、踏み間違い防止装置への補助も今後検討されます。

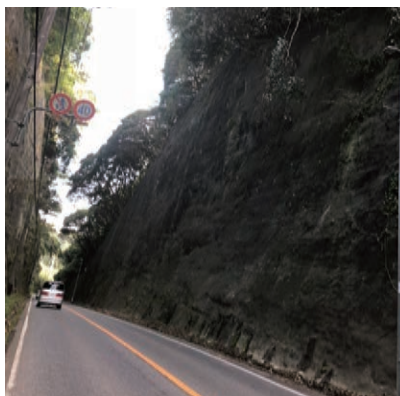
質問3 道路の安全確保について

Q1 国道410号の整備を県へ強く要請していただけないか伺います。

A 館山市から、本路線を管理している安房土木事務所に対し、切割部拡幅による歩道整備を含め、幅員の狭い区間や歩道未整備区間といった具体的な危険箇所の解消及び適切な維持管理について、要望していきたくと考えています。

Q2 国道410号の房南学園前に、児童生徒の安全な横断のために表示をしてもらえよう、県、警察へ働きかけをしていただけないか伺います。

A 「館山市学校安全プログラム」に基づき、学校からの報告を受け、警察、県と情報交換を行い、対策について検討していきます。



おわりに 国道410号は、市の管理下にはありませんが、市民の生活にとっては大切な道路です。夏の間、草が生い茂り、交通事故の原因ともなっています。管理を強化するよう、安房土木事務所に強く要求していただきたいと思います。

質問4 旧神戸小学校、旧富崎小学校の跡地利用について

Q1 旧神戸小学校、旧富崎小学校の跡地を今後、市としてどのようにしていくおつもりなのかを伺います。地域住民が旧校舎を利用することができるのか、あるいは他の利用法をお考えなのか伺います。

A 旧富崎小学校の跡地については、市職員で構成するプロジェクトチームが地域と話し合いを進めており、今年度末をめぐりに方向性をまとめたい。旧神戸小学校については、プロジェクトチームと神戸地区とで協議・検討していきたくと考えています。

Q2 跡地の草刈りなどの管理は現在住民のボランティアで担われています。市有地の管理は本来市で行うべきと思いますが、どのようにお考えなのか伺います。

A 利活用策が決定するまでは、引き続き、地域の方が利用する物と考えていますので、草刈りなどの管理についてのご協力をいただきたくと考えています。

おわりに 市は両校の校舎の耐震強度不足を理由に使用を禁止しています。利活用策が見つからないまま、草刈り等の管理は地域任せになっています。廃墟となった校舎を草だらけで置いておくわけに行かないので、地域のボランティアが管理をしています。地域との話し合いを進め、利活用の方向性を早く見つけて欲しいと考えます。いずれにしても、これからのキーワードは地域です。けれども、何事も地域のボランティア任せではなく、市が主体となって取り組んでいただきたいと思います。

館山二中と三中の統合について

今回の市議会の直前に発表され、多数の議員が質問した問題です。三中の校舎の耐震強度不足が判明し、対策が検討されてきました。当初は、耐震補強や仮設校舎を建てて建て替え工事を行うなどの案が検討されたそうです。しかし、財源の問題や、仮設校舎を建てることでの無駄な出費、グラウンドが使えなくなることなどの不便さを考慮し、三中の生徒を一時他へ移動させ、その間に今の校舎を建て替えるという方法をとることになりました。三中の生徒を収容できる大きさの施設として二中が浮上し、二中三中が統合する提案となりました。

これまでの話は、三中の生徒のより安全な環境を確保するというところでやむをえない選択であると考えます。しかし、その場しのぎの対策で、大きな流れが決まってしまったこと、市内の教育環境をどのようにしていくのかというビジョンの上立ったわけではなく、場当たりの対策で未来につながる大きなことが決定されてしまっていることに不安を感じます。

統合により、1学年7クラスの大規模校が誕生します。残る1中は1学年2クラス、房南中は1学年1クラスの小規模校です。教育環境に大きな違いができます。これを市としてどのように考えていくのか、長期的にどのようなビジョンをもって教育環境を整えていくのか、しっかり議論したいところです。

おわりに 市議会議員になって2か月。学ばなければならないこと、知らなければならないことがたくさんあります。謙虚に学び、誠実に取り組む姿勢を貫いていきたいと思っています。

自然豊かで、海も山もあって、気候も温暖な館山は、人が暮らすには最高の環境です。もっとたくさんの人が集まって活気のある街にできるはず。誰もが住みよい街づくりのため、今後とも皆様方のお知恵とお力をお貸しいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

